

「 第三回大阪府女医会学術講演会 」

謹啓

初秋の候、先生におかれましては益々ご清祥の段、お慶び申し上げます。
この度、第三回大阪府女医会学術講演会を開催させて頂く事となりました。
今回のテーマとして、ストレスが体や心にどのような影響を及ぼすかを皆様と考えて参ります。
先生方にはご多忙とは存じますが、多数のご出席を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

日 時 : 平成 21 年 10 月 3 日 (土) 14 : 00 ~ 17 : 00

場 所 : 大阪国際会議場 12F No1202 会議室

住 所 : 〒530-0005 大阪市北区中之島 5 丁目 3 番 51 号 TEL : 06-4803-5555

学術情報

14:00~14:15

シェリング・プラウ株式会社 大阪支店 学術担当者

開会の辞

14:15~14:20

社) 大阪府女医会 会長 川田 喜代子

講演 I

14:20~15:35

座 長 : 社) 大阪府女医会 理事 西嶋 攝子

演 題 : 「 ストレスとアレルギー性皮膚疾患」

演 者 : 関西ろうさい病院 皮膚科部長 幸野 健 先生

アレルギー性皮膚疾患、特にアトピー性皮膚炎や蕁麻疹の発症・重症化・遷延化に精神心理的要素が関与することは古くから指摘されている。これらの疾患を診察する医師の場合、心身医学は「選択科目」ではなく、「必修科目」であるといえる。心身医学的知識がなければ、医師は患者の状況に振り回され、最終的には自分自身の精神心理状況まで障害されることになりかねない。演者の経験を例にして、実際的な取り組み方について概説する。

講演 II

15:40~16:55

座 長 : 社) 大阪府女医会 副会長 野崎 京子

演 題 : 「メンタルヘルス問題への対応～うつを中心に～」

演 者 : 東京厚生年金病院 神経科・心療内科部長 大坪 天平 先生

過去最悪のペースで増え続けている自殺。おそらく関連が深いであろううつ病を中心に、現代社会におけるうつ病の現状および疾患としての理解、そしてその治療方法などのメンタルヘルス問題に対し、専門医の立場から見えるうつ病と今後を考えてみる。

閉会の辞

16:55~17:00

社) 大阪府女医会 副会長 長野 禮子

- ※ 当学術講演会は、府医「生涯研修システム」対象となります。チケットをご持参下さい
- ※ 講演会会費 : 1000 円
- ※ 講演会終了後、意見交換会を予定しております。

共催 : 一般社団法人大阪府女医会 / シェリング・プラウ株式会社